

平成 28 年度 糸魚川市技術家庭科部 活動報告

部長 高橋 悦子

1 研究主題

「食生活に関する指導の工夫や授業改善と小・中の連携」

2 研究の概要

今年度は、食をテーマに、市内の栄養教諭や栄養士で構成する栄養部と共催で食に関する家庭科の授業研究を行った。授業公開を通して、部員自身の授業実践との比較や家庭科における小・中連携のあり方、家庭科担当教員と栄養教諭との連携の在り方を協議し、授業改善を図ることとした。

3 研究の実際

(1) 公開授業（小学校家庭科）

○題材名「まかせてね 今日の食事」（6年）

○授業日 平成 28 年 12 月 8 日（木） 於：糸魚川市立田沢小学校 6 年 2 組教室

○授業者 田沢小学校 権瓶 望 栄養教諭

○本時（2 / 10）のねらい

給食における献立作成の工夫を学び、栄養バランスを考えて、食べ物を組み合わせる必要があることを理解する。

○授業の概要

- ・導入：前時での献立作成のポイント（気を付けたいことや工夫）を振り返らせた。
- ・展開：本時のテーマを提示し、栄養バランス、旬の食材の使用、彩り、費用、味のバランス、好みの 6 点について、授業者が子どもとやりとりをしながら、カード（絵や文字のカード）を黒板に貼った説明をもとに、自分の献立を、特に栄養バランスと旬の食材を使うの 2 点に特に気を付けながら、献立を個人で見直す作業を行った。
- ・まとめ：ペアになって、互いの献立のよい点や改善点を話し合い発表し、振り返った。



<効果的なワークシート>



<わかりやすく構造的な板書>

(2) 授業検討会および意見交換

- *児童の興味関心に添い、自分事として捉えて積極的にかかわる授業であったか。
- *ペアでの話し合い活動は、ねらいの達成に有効であったか。
- *ワークシート等の準備物は、適切であったか。
- *家庭科担当者と栄養教諭の連携は適切であったか。

4 成果と課題

- ・栄養教諭が題材の授業すべてを持つことはできないが、今回の提案授業のように、専門職としてポイント部分で授業に参加することは、授業の充実にも有効であった。
- ・非常勤の栄養教諭（栄養士）もいるが、是非、家庭科担当教員から、授業への参画について積極的に声がけをしていく。年間の予定が組めれば、単発でなく毎年つながっていくようになる。栄養教諭からも声をかけていく。
- ・小中の家庭科担当者間で、使用食材や道具等を共通理解でき、有意義な研修になった。